

健康推進を目的とした地域ネットワークに関する研究

【キーワード：ソーシャル・キャピタル
地域コミュニティ 健康なまちづくり 】

領域・氏名

看護（公衆衛生看護学） 講師／ 高本佳代子

概要

ソーシャル・キャピタル（SC）の豊かな地域づくりについて研究をしています。健康づくりは、一般的には個人の意識に拠るものが大きいと考えられていますが、個人の健康づくりを実践し、継続していくためには人と人とのつながりを強め、お互いに支え合う、まちづくりの要素が重要です。健康なまちづくりの形成要因や持続可能要因を研究しています。

具体的な内容

これまで「健康推進を目的とした地域ネットワークに関する研究」をテーマに、健康分野におけるソーシャル・キャピタルの形成要因に、小学校区単位の組織化や連携システムなどのルール化のほか、健康問題の情報の可視化といったトリガーが重要である点を、そして、持続可能要因にはメンバーのエンパワメントにつながる支援が重要である点などを明らかにしてきました。今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、デジタル化が加速し、オンライン等での取組が進んでいます。デジタル社会におけるSCが豊かな地域コミュニティづくりについても研究を進めています。

information

健康なまちづくりの事例やそのプロセスなどについて紹介ができます。また、SCの醸成に関心のある行政保健師さん方とともに健康でいきいきと暮らせる地域づくりを行ってまいりたいと考えています。

※ソーシャル・キャピタル：人々の協調行動を活発化することによって、社会効率性を高めることができる、「信頼」や「互酬性の規範」、「ネットワーク」といった社会組織の特徴